

風光



第一七七回定期大会

この1年で1700人の新しい仲間を迎えることができました。この流れのまま1000人地本を目指したいと思えます。社会福祉を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、この拡大を力に、互いに支え合い、心が通いあう組合をつくっていきましよう。

執行委員長 安藤光枝



9月8日(日)労働会館東館ホールにて、東海地方本部の第27回定期大会が開催され、14運動方針や13秋闘方針、スト権、役員体制などが確立されました。148名の代議員、オブザーバーと来賓の方々、執行委員会、202名が参加し、活気溢れる大会となりました。

午後の討論の時間では、各分会の闘争状況や抱えている悩み、組織拡大のとりくみ、各支部・種別報告から平和の問題まで、全体で23本の発言があり、方針を力強く補強する中身となりました。

議案提案要旨

13年度は「福祉は権利」のローガンのもと、福祉の自己責任を許さない闘いを種別を超えて、全国の仲間とも連携してとりくんできました。

また、新規事業拡大に伴い、職場が増えました。忙しい中でも日々の分会活動を大切に、要求を積み上げることで、前進的な回答を勝ち取ってきています。そして、丁寧な声かけを通して目標である900人地本を達成することができました。

情勢は厳しく、社会保障制度改革推進法を受けた国民会議の報告で、社会保障・社会福祉を自助共助を基本にする」と明記されました。他にも消費税やTTP、原発など様々な問題が山積しています。今こそ、全ての労働者と団結し、誰もが生き生きと暮らし、働き続けられる社会を目指して行動していく時です。



前田中央委員長も挨拶に駆けつけて下さいました

発言を受け、「分会の中で思いを出しあい、一致させながら要求していく」「一人ひとりの組合員の思いから出発することが、組合にとって大切な柱」「諦めず何度でも、粘り強く要求し続けることが大切」といった労働組合の基本を皆で確認し、いよいよ1000人地本目指して頑張ることを決意しました。



5年ぶりに東海地本に戻ってきた仲野副委員長の掛け声に合わせて、誰もがいきいきと働ける社会を目指し団結してガンパロー!

新執行部です
 よろしくお願ひします

執行委員長 安藤 光枝
 副執行委員長 五十川 薫
 執行委員 岡村 悦子
 寺坂 智
 仲野 智
 書記長 藤原 佳子
 書記次長 服部 公一

石井 真理子
 井上 芳紀
 榎本 淳
 大川 真護
 大瀧 友美
 加藤 圭
 加藤 瑞菜
 川崎 聡美
 川畑 由美
 川畑 聡美
 桑田 由美
 高橋 優美
 田中 知弥子
 土井 美咲
 内藤 郁美
 永井 久美子
 中川 梨花
 中上 恒野
 長沼 恒男
 中村 英司
 西岡 菜絵
 西川 佳寿
 西田 知也
 中 奈月
 林 亜衣
 兵藤 望美
 山本 陽子
 石濱 文司
 顧問 長尾 倫子
 天白福祉会
 西田医療センターくのみ保育園
 平出 暁
 荒畑もちの木保育園
 発達センターちよだ
 めいほく保育園
 めいほく保育園
 西田医療センターくのみ保育園
 新瑞福祉会
 ひまわり保育園
 書記局
 藤原 佳子 書記局
 服部 公一 書記局
 社会館
 ほしざき保育園
 新瑞福祉会
 名市大さくらんぼ保育園
 みなと福祉会
 びわの実保育園
 清明山保育園
 南部地域療育センターそよ風
 あいかわ保育園
 のざく保育園
 池内わらべ保育園
 南部地域療育センターそよ風
 どんぐり保育園
 めいほく保育園
 めいほく保育園
 なえしる保育園
 けやきの木保育園
 ひまわり保育園
 くまのまえ保育園
 社会館
 天白福祉会
 ゆたか支部
 春日井福祉会
 新瑞福祉会
 かわらまち保育園
 めいほく作業所
 みよし保育園
 発達センターちよだ
 田代保育園
 天白福祉会

【大会発言】

要求は握って離さず

田代分会 吉崎代議員

13春闘もアンケートをとり「調理員のB等級化」「夏期休暇を5日に」「インフルエンザ予防接種補助」「パート時給1000円」の4つの要求項目を確立したが、法人の財政が厳しい中、要求書を出すべきか悩んだ。でも要求は要求として掲げ、自分たちの思いを伝えるためにも出すことにした。そして夏季休暇5日と予防接種補助を獲得。今後2分会で話しながらいきたい。



大変さ出し合い支え合う

いりなか分会 加藤代議員

4月から千種区におおしま保育園を開園し、新人を11名迎えた。9割が2〜30代で運営がとて難しい。分会は組合の学習と集団作りにおいて、悩みを打ち明ける時間も大切にしたい。その中で新人と2〜3年目の人が組んで働くしんどさ、保育の話ができないなどの悩みを打ち明けられる場になった。年度内に要求書を出したい。また「助けて」



コールもするので支えてほしい。

職場実態から要求を掲げる

新瑞福社会分会 伊藤代議員

昨年格付け保育士を常務理事に送り、現場にしわ寄せが出てきた。安心安全の保育確保のため、正規フリーを求めたい。



勤続表彰について削減の逆提案があった。給料が下がる中、頑張っているのは

横井代議員



勤続表彰などがあり、それが見通せるから。来年はいい結果の報告がしたい。

執行委員を真ん中に支える

なえしろ分会 横井代議員

開園してすぐ分会結成し、執行委員も送り出してきた。でも午後の執行委員会に送り出せなかった。しかし、地本からの提起も受け分会で話し合い、権利としてあるから送り出そうと決めた。元気で活動する執行委員に刺激を受けて、分会自体が元気になる。執行委員を支えながら、分会活動を活発にしていきたい。



要求と拡大をつなげて

すずかけ分会 榎谷代議員

6年ぶりに要求書を提出。大きな要求の柱に人員増を、未組織の人、利用者も含め話したことで、組合への加入につながった。拡大とつなげて要求を積み上げることが大切。経営者はお金をつかうことに戻込みしている。組合も財政など学ばないといけない。地本で財務諸表分析の集中講義などもしてほしい。



労働者の権利は引き下げない

社会館 太田代議員

社会館では現場の労働条件を下げないことを大切に、新規事業に向かった。公選制主任など、組合で勝ちとった権利は新園でも実施を要求。毎年要求書を出して回交している。役員任せではなく、



全員回交を確認書が取れるまで何度でも行う。分会が大きくなる半面、個人が埋もれないように。自らが主人公になるように、一人ひとりが元気になれる組合活動をしたい。来年も分会活動の成果をこの場で話したい。

現場実態を市交渉で伝えたい

ぐみの木分会 楠井代議員



ぐみの木では子育て支援に力を入れ、アナフィラキシーの子なども受け入れる。鈴鹿市の保育予算交渉では、要求項目を分会員みんなで振り分けて、学習しながら発言の自身など考えている。学ぶとメラメラ燃えてくる。保育は福祉サービスではない。新制度になり、企業参入で質の低下が心配。24条1項の自治体責任が守られる認可園の増設を求めていく。

思いを一致させて団結

そよ風分会 伊藤代議員

分会では定期的な活動もしてきているが、分会員の要求を束ねるのが難しかった。部別でも話し合い、しんどさや新規事業の不安も出し合ってきた。



出すだけか、回交もするのかと悩んだ。回交を知らない人も多かったが、自分たちの思いや矛盾を要求書にまとめて、一致団結して回交してきた。自分たちの思いをみんなで確認することで分会の力になった。その結果新しい仲間も5人増え、責任者会からも人員増に向け努力するという回答を引き出した。

要求を出し続けることで実現

天白福社会分会 内藤代議員

天白福社会の准職員は、給与が正職の85%。それを90%に引き上げることが出来た。仕事量は正職と大きく変わらないのに、給与で大きな差ができるのはおかしいと、ずっと要求してきた。他にも要求がある。言い続けたから実現した。これからも頑張り続けたい。



組合員の思いを基本に

めいほく作業所分会梶村代議員

理事会から就業規則・給与規定改定の提案が出された。障害・高齢職場の就業規則・給与形態が統一されると、結果賃上げになってしまふ。試算すると生涯賃金で2000万くらい違いが出てくる。

「早く意見書がほしい」と再三言われたが、まだ納得と合意はできていないので、引き続き話したいと要望している。

どうしたらまとまるか？困った時は基本に立ち返り、分会員の意見を聞いていくことを大切にしたい。1人ひとりの気持ち、不安を聞いて思いを束ねていく。新しくできた鳩岡で5名拡大できた。若い人が多いが、西田君を執行委員に出すなど、若者が一歩ずつ前に進んできている。



実現させる会のとりのくみ

あつた分会 岩橋代議員

14年の東部地域療育センター建設に向けて運動しているが、予定地が南寄り、守山の子は通いづらい。フォローのために開設後もちよだを今後も残してほしいと署名活動をしている。同じ市内でも格差がある。障害乳幼児に何を大切にしたいかを保護者と考えながら運動を進めている。11月には保護者と一緒に市交渉をする予定。署名と合わせ、今後ともご協力をお願いします。



なんでも話せる分会に

第二こぐま分会 横山代議員

開園の際にはカンパなどの協力、ありがとうございました。新園開設とハベテランが半分になること。大変なこともあるがみんな頑張っている。分会も新しい人が多く、勉強会など開いている。分会活動始まったばかり、みんなでも話し合えるような分会にしたい。これから頑張っていきたい。



分会立上げ非正規も拡大したい

びわの実分会 大瀧代議員

4月からびわの実が開園し、分会を結成した。「びわの実」独自の要求もしていきたいと思ひ、がんばって立上げた。分会の中で楽しい事、大変なこと話し合っていていきたい。のぎく・けやきの木・びわの実と3園で一緒に要求もしていきたい。非正規の人を組織できていないので、声かけをして、仲間を増やしていきたい。



職場民主化の報告

ゆつりん分会 小尾代議員

昨年元施設長のパワハラの問題で分会を立ち上げた。子ども中心ではなく、元施設長の考えが中心の施設になっていった。理事会に運営責任を果たさせるために団交を重ねてきた。中央の児童養護部会や名古屋市内など、いろいろな人に助けてもらった。厚労省にも行って、懇談をさせてもらった。その結果改善委員会が立ち上げられ、施設長交代となり、改善されてきている。でもまだ元施設長が理事会に残っているの、そこもどうにかしていきたい。



ば」といううれしい感想をもらえた。今後も他の職場も含め、交流をしていけたらと思う。



未組織職場とのつながりづくり

天白福祉分会 竹田代議員

昭天瑞支部で未組織訪問にとりのくみ、天白福祉分会で作業所の「ほっとはむ」さんとながらをつくってきた。新歓や旗びらきにお誘いをしつつ、その際の食事を注文させてもらった。その後グリフェスにも出店をお願いできた。何度も打ちあわせをして、当日職員さんが1人来てくれた。支部も隣に出店して職場状況を聞きながら組合の話もできた。「参加してみても人が多くなってびっくり。また参加でき

熱中港支部のとりのくみ

のぎく分会 亀岡フザーバー

支部では毎月1回支部会議を開催し、各分会状況を交流し、福祉のひろばの読み合わせをしている。バスハイクなどの楽しい企画もしている。元気に仕事に向かえるよう「ヨガ」を企画し、未組織職場にも声をかけた。これから他の団体とも交流できる企画を考えたい。



障害協のとりのくみ

さくらんぼの会 麻生代議員

障害協では、現在議長不在で進んでいるが、参加者の経験と力で進めている。先日名古屋市交渉を行い、数多く参加されたことがすばらしい。また、若い人が勇気を持って発言できたこともよかった。愛知県下の事業所の実態として、連携と共闘がしづらい。障害協の会議にも遠くからだとなかなか通えない。思いが統一しづらいので、そこを改善していく課題がある。



保育協のとりのくみ

川畑執行委員

先日の名古屋市交渉に168名の参加があった。制度改悪の流れを何とかしたい、というみんなの思いが伝わってきた交渉だった。自分たちの実態や要求を伝える大事な場。今後もみんな声をあげていきたい。愛知県交渉など通して、県下の底上げも求めていく。保育協幹事のフォローを各分会でもお願いします。



職対部のとりのくみ

名東分会 安江代議員

2か月に1回会議をしている。各支部から担当を出してもらって、互いに状況把握し、どう支



執行委員を退任されるみなさん お疲れさまでした



えていくのか考えていきたい。昨年は8月末に全国健対部の学習交流集会を東海でできた。13年度はリハビリ相談が4件で2人復帰できた。相談の対応ができる人の養成が課題。病休は本人も周りもつらい。まずは予防することが大切。職対部に支部から来てもらって、「働き方がどうなのか」を共に考えていきたい。11月5日に会議がある。11月5日のでぜひ来てください。

臨パ部会とのりくみ
西川執行委員
年度の前半は分会からの参加者がおらず運営ができませんでした。後半は組合学校に向け労働条件の一覧をつくることにした。しかし回収が少ない状況なので再度お願いをした。労働講座でも臨パ部会で行きたいと考えている。



青年部のとりくみ
今年も青年部では、ちよだと清明山で出張青年部を開催したり、グリフエスなど青年同士の関わりをつくってきた。また、グリフエスの実行委員会に出たり、組合学校でも分散会を企画してきた。



東海の青年部から全国の青年部や愛労連の青年協にも仲間を送り出している。今年も埼玉で「まなわが。」を開催。職場では言えない悩みも話し合い、元気がでた。来年は兵庫でするのでぜひ参加してほしい。青年協でも県下の青年と一緒にキャンプなどの企画に取り組んでいる。他にも青年部で太鼓に取り組むなど、いろいろあるのでぜひ参加を。

原水禁世界大会の報告
亀岡一初めての参加で大きな衝撃を受けた。核兵器は残してはいけないと実感できた。総会

で原発事故で親と離れて暮らすなど、子どもたちに必要ない苦しみを与えていることも話された。爆弾ではないけど、テロの対象になってしまえば、原爆と原発は同等だと思えます。

角田一大会の中で私たちの力は微力だが無力ではないという力強い発言があった。日本の歴史を学びながら、身近な平和、核のない平和な世界を目指し、一歩ずつ進みたい。



【編集後記】
今年も多くの執行委員の仲間が退任されました。この1年一緒にがんばってきた仲間がいなくなるようで、ちょっと寂しくなります。でもこれから分会の中で、今まで蓄えた力を発揮し、新しい執行委員を支えてくれると思うと、それはとても頼もしく思えます。

かわりに新しい執行委員も増え、総勢38人の執行委員会。今まで以上にパワーアップして、組織拡大に努めます。

この記事を書くにあたり、大会当日の発言を読み返すと、本当にすごいと思います。大切なことを再確認できます。まだ大会に参加したことのない方は、ぜひ来年代議員になってみて下さい。ハムコ・テラックス

岡村一平和担当をしていて「あすキャン」や平和行進に出て、行かなきゃと思いが参加。私たちが被爆者の人の話を聞ける最後の世代。聞くことで気付く。いろんな人に参加してほしい。



藤原一初めての長崎世界大会。行くことで気付く。組合で位置づけることが重要。平和を守るとりくみを語り継いで行きたい。いい経験をさせてもらった。

求実現にみんながんばりたいと思います。

新執行委員のみなさんにはアンケートを実施したので、次回11月号のみなさんの執行委員会にかけの意気込みなどを紹介したいと思います。

労働講座へのお誘い
高橋執行委員
9月18日に秋闘労働講座実行委員会を行います。昨年の委員会で「当たり前」と思っていたことが、学ぶことでそうじゃないと気付けてよかった。という感想も寄せられた。会議の中で悩みもいろいろ出されて、話し合いながら、みんなで作り上げていくことがたのしく、学べて深めていける。この労働講座をみんなで作り上げて成功させたい。各分会から実行委員の参加をお願いします。

